

I 学位授与及び教育課程の編成・実施の方針

1 建学の精神・理念・教育目標

建学の精神

薬学の普及と社会に有用な薬剤師を養成し、医薬分業を実施し、もって国民の保健衛生へ貢献する。

大学の理念

ソフィア（純粋知）とフロネシス（実践知）を兼備えた人材を育成する。

大学の教育目標

- 1 薬物治療に責任を持てる薬剤師を養成する。
- 2 強い探究心と洞察力を持つ、独創的発想力豊かな人材を育成する。
- 3 柔らかな心と豊かな人間性を持った国際的に通用する薬学人を育成する。

2 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

薬学科

薬学科の教育目標は、次に示すような能力を備えた医療の担い手としての質の高い薬剤師の養成です。この目的を達成するために編成されたカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修得した者に対して、卒業を認定し、「学士（薬学）」の学位を授与します。

1. 医療人としての人間力、倫理観、社会的使命感の形成

医療人としての社会的使命感を強く自覚し、豊かな人間力と倫理観を持って、薬剤師の職能を発揮できる能力を修得している。

2. 薬剤師に必要な専門分野の知識・技能・態度の形成

患者の病態に応じた薬物治療を総合的に評価し、安全性・有効性を確保する能力および衛生分野（環境衛生、栄養・食品衛生、公衆衛生）において薬剤師に必要とされる能力を修得している。

3. コミュニケーション能力と人間関係構築のための能力の形成

多様な背景を持つ人々との良好な関係を築き、情報を的確に伝達し、豊かな人間関係を構築する能力を有している。

4. 多職種で医療連携できる能力の形成

社会において他の医療人と連携し、健康・福祉の維持・増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を有している。

5. 研究的思考と問題解決能力の形成

医療・薬学に関わる問題を発見し、科学的な探究心を持って論理的・批判的な視点から解決策を提示できる能力を有している。

6. 自己研鑽と学ぶ姿勢の形成

医療や薬学の進歩に対応し、自らの適性に応じた領域を選び、持続する向上心と探究心を生涯維持し、薬剤師として生きる姿勢を有している。

生命創薬科学科

将来さまざまな生命関連職種で必要となる次に示すような基本知識・技術・態度を適切に身に付け、卒業に必要な単位を修得した者に対して卒業を認定し、「学士（薬科学）」の学位を授与します。

1. 創薬化学分野の基礎学力を身につける。
2. 生命科学分野の基礎学力を身につける。
3. 創薬科学に関わるために必要となる医療薬学の素養を身につける。
4. 幅広い学問分野の素養を身につけ、強い探究心と洞察力を養う。
5. 論理的思考に基づく知識の応用の仕方を学び、発想力と独創性を涵養する。

3 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

薬学科

薬学科のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に掲げる目標を達成するために、以下の方針に従い教育課程を編成し、実施します。学修にはアクティブ・ラーニングを取り入れ、学生が主体的に学ぶ姿勢を身につけ、問題解決能力や他者との協働する力を養成します。

1. 医療人としての人間力、倫理観、社会的使命感の形成
医療従事者としての社会的責任を自覚するために、1年次から医療現場での早期体験学習を実践し、また学年の進行に伴い倫理観および国際感覚を育むための授業科目を配置する。
2. 薬剤師に必要な専門分野の知識・技能・態度の形成
「社会と薬学」、「基礎薬学」、「医療薬学」、「衛生薬学」の領域において薬剤師に必要な専門分野の基本的な知識・技能を修得するための授業科目を配置する。また、主として1～3年次に修得した専門分野の知識・技能に基づいて、4年次以降では薬物治療の実践力を育むために臨床情報の収集、解析・評価能力を修得するための授業科目、事前実務実習、及び薬学実務実習を配置する。
3. コミュニケーション能力と人間関係構築のための能力の形成
1年次から、ロールプレイやケーススタディを通じて基本的なコミュニケーションスキルの修得を図る。学年の進行に伴い、医療現場での患者や他の医療従事者とのコミュニケーションにおいて、的確で明確な情報伝達ができる能力を育成する。
4. 多職種で医療連携できる能力の形成
1年次より早期体験学習を通して地域および多職種における薬剤師の役割を理解するための授業科目を配置し、学年の進行に伴いより実践的な授業科目を配置する。
5. 研究的思考と問題解決能力の形成
1～3年次の演習・実習で修得した能力に基づいて、4年次で薬学の専門性を深化させるための卒業研究を実践する。また5年次では自身が選択するコース特別実習・演習において問題解決能力の修得を実践する。
6. 自己研鑽と学ぶ姿勢の形成
医療、情報、科学技術の進展に対応するためには、生涯を通じて自己研鑽が必要であることを認識する基盤を築く必要がある。そのために、卒業研究、コース特別実習・演習、各種実習・演習を通じて、自己研鑽に取り組む姿勢を育む。

生命創薬科学科

生命創薬科学科は、「生命科学分野と創薬化学分野の基礎学力」、「創薬科学に関わるために必要な医療薬学的素養」、及び「幅広い学問分野の素養」を身につけ、強い探究心と洞察力を養うことに加え、論理的思考に基づく知識の応用の仕方を学び、発想力と独創性を涵養する独創性豊かな創薬科学者及び高度な技術を有する技能者を育成することを教育目標としています。

本学独自のカリキュラムは、少人数制の行動型授業により高いコミュニケーション能力を養うとともに、多種多彩な研究体験を通して論理的思考力を伸ばせるように、生命科学や創薬研究を基盤にした連動性に優れており、将来大学院への進学を目指す学生にも対応しています。

○ 1、2年次の基礎教育

大学への導入教育、人間形成に必要な教養科目を履修するとともに、生命科学と創薬化学の基礎科目を重点的に履修します。また、少人数制の能動的演習科目により確実な基礎知識と積極的な学修態度を身につけることができるようにカリキュラムを編成しています。

○ 3年次の専門教育

生命科学と創薬化学の専門科目、医療・衛生科目を履修するとともに、生物系研究室、化学系研究室における長期総合実習・演習を通して、専門性の高い経験を積み重ね、早い段階から研究に対する意識づけが明確にできる科目を編成しています。

○ 4年次の専門教育

専門分野の知識や技術を積極的に活用する総合力（探求心、論理的思考、洞察力、および語学力）を養うことができるカリキュラムを編成しています。